

対策 (対策が求められる現状)	取組事項	令和7年度の実績 ○：県の取組、■：市の取組
2 農業経営の支援 ○農業所得の減少 ○排水不良農地での栽培農作物の制限	競争優位性のある農作物の導入	○さいたま農林振興センターの協力のもと、地元農業者が実証栽培を実施 ・にんにく試作 1人 ・シュンギク試作 1人 ・ブロッコリー試作 5人 <県農業ビジネス支援課>
	見沼ブランドの確立	■さいともを含む農産物の加工品開発、ブランド化の推進 地場産農産物の新規加工品 3件 <さいたま市農業政策課>
	地産地消の推進	■食料品スーパーなどにおける地場産農産物コーナーの新設 設置 3店舗 <さいたま市農業政策課>
	市民農園や体験農園の設置拡大	■・企業やNPO法人が開設する市民農園開設支援 2件 ・児童農業体験実施校 9校 ・農業交流施設を含む(仮称)さいたま市農業交流公園の整備工事に着手、機運醸成のための地元農業者と連携した農産物直売会(大崎公園) 4回 <さいたま市農業政策課>
	河川・水路機能の維持向上	○橋梁架換 2橋、調節池、樋管工 <県河川砂防課> ■地元要望に応じた農業用水路の維持補修を実施 ・補修工事 14か所 ・草刈、清掃 26か所 <さいたま市農業環境整備課>
3 見沼田圃にふれあう環境の創出 ○斜面林の減少 ○見沼田圃を取り巻く自然環境の保全 ○都市住民の自然や農業への関心の高まり	斜面林保全活動への支援	■特別緑地保全地区や市条例に規定する指定緑地において、緑地ボランティア団体に対する活動支援や所有者の維持管理に係る助成による支援を実施。 <さいたま市みどり推進課> ■自然再生活動団体による、市内に残る良好な自然環境の積極的な維持保全活動及び損なわれた地域固有の自然環境の再生・創出活動への助成 1団体 <川口市みどり課>
	農業・自然体験の提供	○公有地管理委託を通じた市民団体等の体験イベント実施 実施団体 10団体、イベント 68回、延べ参加者 5,103人 <県土地水政策課> ■活動支援 ・みぬま秋フェス in さぎ山 2025 を 11月 22日、23日開催 ・シーズン企画 124回 7,214名参加 田んぼ体験、見沼自然散策、バッタ選手権 など <さいたま市見沼田圃政策推進課> ■自然体験や工作を用いた自然ふれあい教室を実施 イベント数 2回、参加者数 48人 <川口市みどり課>
	見沼・さぎ山交流ひろばを活用した交流の拡大	■「みんなの見沼たんぼ! デジタルフォトコンテスト 2025」を開催 見沼田圃基本計画アクションプラン市民プロジェクト 3事業について、施策を実施 1. グリーンインフラ推進プロジェクト: 見沼田圃グリーンカーボン推進事業の途中経過の報告・公表(さいたま市ホームページ、さいたま市花とみどりのまちづくり審議会) 2. 見沼田んぼ桜回廊活用プロジェクト: 見沼田んぼの桜回廊ライトアップ 2026 の開催 3. 見沼田圃生物多様性プロジェクト: 里地里山維持管理ガイドライン活用の水平展開(さいたま市ホームページ、見沼・さぎ山交流ひろば会議) <さいたま市見沼田圃政策推進課>